

第1回 グローバル人材育成事業 in ケアンズ

8月20日(木)から27日(木)まで日和佐・由岐中学校の生徒12名がグローバル人材育成事業に参加しました。グローバル人材育成事業は、姉妹都市であるオーストラリアケアンズ市において現地の学校に通学し、一般家庭にホームステイするという事業です。こういった学校間交流事業は、約10年ぶりの復活になります。



初体験の連続だった

ケアンズステイ

由岐中学校 水口 優

約1週間、初めてケアンズへ行きました。天気にも恵まれて楽しく学習ができました。最初の入国審査は、何を言われるか心配で1番緊張しました。役場にも訪問しました。

ホームステイでは家族とたくさん話をしました。バスケの練習を子供たちしたり、川で泳いだりしました。動物園にも連れて行ってもらいました。初めて自分の目でワニやカンガルーを見られたし、外国の子供とスポーツもできました。思ったより英語が通じ

たので、たくさん外国人と話ができたし、僕が持っていた日本のお土産を喜んでくれました。

学校では、先住民の踊りを見ました。授業は、折り紙をしました。昼休みはクラスの子



とサッカーをして楽しみました。夕食に食べたカンガルーは牛肉のような食感だったし、ワニは焼き鳥のような味でした。

この1週間で日和佐中の生徒とも仲良くなれました。貴重な体験をさせていただきありがとうございます。ございませました。



言葉の壁を越える

由岐中学校 小谷 雪之丞

僕は、8月20日から27日まで「グローバル人材育成事業」に参加しました。今回の事業では言葉の壁は越えることができることを感じました。

オーストラリアに着いて、最初にケアンズ市役所で代表としてスピーチをしました。緊張したけれど、僕の英語でケアンズの市長さんたちに伝わってよかったです。

ホームステイ先では1日目

